

公益社団法人松阪青年会議所
2018年度 基本運動方針

青少年開発委員会

委員長 後藤 禮雄

《委員会スローガン》

次代へ繋ぐ利他のこころ

《基本運動方針》

我々、松阪青年会議所は20代、30代の青年経済人が集まり、業種や役職にとらわれることなく、「明るい豊かな社会の創造」という共通理念のもと63年の歴史を刻んで参りました。近年我が国では経済の成熟を迎え、「物質的豊かさ」から「精神的豊かさ」を求める時代と変革しつつあります。日本人が古くから持ちあわせる豊かな人間性と創造性を、次代を担う青少年に育むためには我々の持続的な運動が要といえます。

本年度、青少年開発委員会では、「次代へ繋ぐ利他のこころ」をスローガンに、他者をおもい他者のために進んで行動ができる青少年の育成運動を展開して参ります。

10月公開例会では、次代を担う子どもたちに「他者をおもいこころ」を育むことを重点事業の軸とし、子どもたちが相手の立場に立つことで、他者との共生や異なるところを理解しあえるこころを育む例会を行います。また本年度で45回目という節目の年を迎えるJ.C青年の船「とうかい号」では、関わるすべての事業を担当させていただきます。我々は、地域の企業様より幅広く一般乗船者を募り、一般乗船者が本事業へ参加する意義を理解し、乗船に対する意識と意欲が向上できるよう誠心誠意努める所存です。そして一人でも多くの若者が、本事業で得た学びを事業所や地域において発揮し、世のためひとのため行動できるひととして活躍して頂くために、下船後においても自己の学びを見つめ直し、共有できる機会づくりに努めます。

結びとなりますが、次代を支える有志を拡大するために、躍動する青年会議所運動を広く周知し、会員拡大についても積極的に取り組んでまいります。委員会メンバー一同が一丸となり、他者を慮る大きな愛情をもった青少年を育成するために一年間精一杯努力してまいりますので、皆様のご支援ご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。